

令和6年度 事業成果報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1. 地雷処理支援事業成果実績

カンボジア政府機関のCMAC(カンボジア地雷対策センター)と共同して事業を実施し、村人参加型地雷探知チーム5名により、バタンバン州のカムリエン郡、プノンプラ郡、サンパウルー郡内の5村15箇所の地雷原を探知し、約138ヘクタール(累計約636ヘクタール、東京ドーム136個分)の農地を安全にするとともに、活動地域の村人からの情報による回収活動、危険回避の啓蒙活動を行いました。

詳細は、以下である。() 数字は2011年8月からの累計

- (1) 処理した地雷数 : 対人地雷156個(1,191個) 対戦車地雷7個(237個)
- (2) 処理した不発弾 : 126個(1,975個)
- (3) 処理した面積 : 1,389,099平方メートル(6,359,914平方メートル)

2. 地域復興支援事業成果実績

(1) 相互の友好交流を促進する事業

5月3日～4日、東京代々木公園で実施されたカンボジアフェスティバルにIMCCDの活動を広報する目的で東京支部の中里さん等がブースを開設し、訪れた皆さまやカンボジア大使等と交流しました。8月1日～4日、関西のロータリークラブの主催でIMCCD下村副会長等が高校生26名を率いて台湾の左榮高校を訪問し、高山理事長の講演などで交流しました。11月11日～15日、高山理事長とクマエ蒸留会社のソックミエン社長は、イギリス・ロンドンで開催されたお酒の品評会の最高峰と言われる「IWSC」の表彰式に出席して世界各国から来られた500名の方々と交流しました。その他、日本からの訪問者84名の方はタサエン村の村民や子供たちと交流されました。

(2) インフラ整備を支援する事業

ア 井戸掘削

井戸6基 No.83 No.84 No.85 No.86 No.88 No.89 完成。

イ ゴミゼロ運動

IMCCD日本語学校の子供達が、宿舍のゴミを拾う活動を毎日実施しています。オアンロック小学校の先生たちが、ゴミ焼却炉を学校に作りたいとIMCCD 宿舍の焼却炉を見学に来られました。

(3) 農業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社が管理する10ヘクタールの農地では、キャッサバ芋、さとうきび、シトロネラ、バナナ等を栽培し、それらの収穫農産物が加工産業の発展に繋がるように研究しています。

(4) 地場産業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社に取り組んでいる農産物を加工して産業の発展を目指す活動では、キャッサバ芋、ジャスミン米、サトウキビ、マンゴー、バナナ、ジャックフルーツ等を原料にして焼酎やスピリッツ、ラム酒を製造しています。2023年5月、パリで開催されたお酒の審査会 **KuraMaster2023** に、酒類5種類をエントリーし挑戦した結果、4種類が入賞しました。どれも高級酒として評価され、カンボジア国内や日本にも輸出され販売されています。また、イギリス・ロンドンで開催される **IWSC** 世界最高峰のお酒のコンクールで4種類が入賞し、11月、高山理事長がソックミエン社長とロンドンで開催された表彰式に出席しました。今期3月、再び **IWSC 2025** に5種類をエントリーしました。

(5) 日本企業の誘致を支援する事業

現在まで、2008年に1社、2011年に2社、2014年に1社を活動地のカムリエン郡に企業誘致して活動しましたが、2019年に1社がプノンペンの経済特区に移転し、現在は、3社がカムリエン郡地域で操業しています。

(6) 教育環境の発展を支援する事業

今期は、学校建設はありません。

(7) 人材の育成を支援する事業

ア 現在愛媛県に来ているカンボジア技能実習生の側面的な支援をしています。更に中学生の留学生2名を受け入れるとの話があり、両親や、お世話される日本側の関係者と意見交換をしております。

イ IMCCD日本語学校

日本語の先生が退職し、現在、先生はいませんが、数名の子供達が自主的に日本語を勉強しています。

(8) 講演、写真パネル展などを通じ平和構築を啓発する事業

ア 日本での講演活動

日本での講演活動は、2020年のコロナ禍前に比べ、増加しました。オンラインでの講演も引き続きありますが、直接現地に行つて講演を行うことが多くなりました。

写真パネルイベントは、5月に東京の代々木公園で行われたカンボジアフェスティバルに東京支部が出展、多くの皆さまがブースを訪問して下さいました。更に兵庫支部がワン・ワールドフェスティバルに出展、奈良支部には講演会を開催していただきました。愛媛では宇和島分会が宇和島 NPO まつりに出展、支援者の皆さまには講演会を開催していただきました。

イ 日本人のタサエン地区など訪問見学

今期は、徐々に訪問者が増え、約84名の方がタサエン村の宿舎を訪問されました。

(9) 広報に関する事業

ア リーフレットやカンボジア便りなど年2回支援者の皆さまに1回につき1,200部を郵送しています。

イ 表彰

高山理事長が外務大臣表彰を受けました。

クマエ蒸留会社のソックミエン社長がカンボジア王国政府産業大臣表彰を受けました。

ウ 奈良地区で定期的にラジオ出演を行いました。

著書 『地雷処理という仕事』－筑摩書房－初版8,000部 重版2刷り800部
3刷り800部 4刷り800部

『平和の種になりたい－カンボジアの復興に奔走した12年の記録－』2,000部

10周年記念誌『平和の種になりたい－ご支援いただいた皆様に感謝－』

初版2,000部 増刷500部

動画 『平和の種になりたい』－IMCCD－